

防災に役立つ

防災には日ごろからの用意が肝心です。地図を見ながら、家族で避難場所などについて話し合ってみてはいかがでしょうか。

ハザードマップ（防災マップ・避難所マップ・地震マップなど）

地震や洪水といった自然災害に備え、被害の軽減や防災対策のために作られた地図。被災想定、避難場所、避難経路などを表示しています。市町村のホームページに掲載されていることもあります。

《名古屋市の場合》

『あなたの街の地震マップ』『あなたの街の避難所マップ』
『徒歩帰宅支援マップ』『庄内川・新川洪水ハザードマップ』など



ハザードマップ作成に役立つ地理情報

土地条件図（愛知県分を所蔵）

伊勢湾台風（昭34）の洪水・高潮被害をきっかけに作成されました。地形の区分、1mごとの等高線等を表示し、災害を起こしやすい地形条件などが分かります。愛知県分は昭和40-42年ごろに作られました。

都市圏活断層図（愛知県分を所蔵）

阪神・淡路大震災（平7）を契機に、活断層に関する情報整備の必要性が高まったことから作成されました。活断層の詳細な位置と長さ、防災関連施設等を表示しています。

「**国土地理院の主題図**」で全国 1:25000 の土地条件図を見られます
<http://www1.gsi.go.jp/geowww/themap/index.html>

【コラム③】数十万年前の愛知の地理

数十万年前、愛知はどんな形をしていたでしょう？
古い地質を調べると、日本列島がまだ形作られる前からの古地理変遷が分かります。

『愛知県 地学のガイド』コロナ社 1978.12

『数十万年前の東海地方はどうなっていたか』

黒田 啓介／著 近代文芸社 1991.4

